

様式第5号（第10条関係）

パブリックコメント実施結果報告書  
【案件名：第2期つくば市スタートアップ戦略（案）】

令和5年（2023年）2月  
つくば市政策イノベーション部スタートアップ推進室

## ■ 意見集計結果

令和4年(2022年)12月2日から令和5年(2023年)1月4日までの間、「第2期つくば市スタートアップ戦略(案)」について、意見募集を行った結果、3人(団体を含む。)から8件の意見の提出がありました。これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考え方をまとめましたので、公表します。

提出方法別の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数(団体を含む。)
直接持参	0人
郵便	0人
電子メール	0人
ファクシミリ	0人
電子申請	3人
合計	3人

## ■ 意見の概要及び意見に対する市の考え方

### ○ はじめに について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	冒頭部分で「使命」という言葉が使われているが、この言葉の意味は重く、簡単に使えるものではないと思う。この「使命」はあまりに突然で突飛な感じがする。この重い意味を持つ「使命」は、どこで、どのようにして決定されたのか？議会で決定されたのか？	1件	ご意見を踏まえ適切な言葉に修正いたします。

### ○ スタートアップの定義や対象 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	「スタートアップ」という言葉が何度も出て来るが、こ	1件	ご意見のとおり、スタートアップの説明を最初にお示しする

	の言葉の意味がはっきりしないので、何を言っているのか分かるようで分からない。「スタートアップ」の意味について、解説が必要だと思う。		ことで、分かりやすさにつながるものと考えます。そのため、25ページにあるスタートアップの定義を4ページの最後に移すように修正します。
2	p25にある「スタートアップの定義」は脚注等に移せばよいと思う。	1件	ご意見の内容に加えて、スタートアップの説明を最初にお示しすることで、分かりやすさにつながるものと考えため、25ページにあるスタートアップの定義を4ページの最後に移すように修正します。

○ 直面する課題 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	テクノロジー系スタートアップなどは当然つくばの課題ではあるが、他の自治体でも上がって来る飲食系スタートアップ、ファッション系スタートアップ、輸入輸出系スタートアップ、ファッション系スタートアップ、装飾アクセサリアート系スタートアップ、翻訳系スタートアップ、プログラミングやWEBデザイン系スタートアップ、ゲーム系（アナログのカード、ボード、デジタルのアプリ、買い切り配信ゲーム、アプリゲームなど）リノベーション系、観光ツーリズム案内系、民泊系、福祉系（アナログ、デジタル、ガジェットなど）それこそ様々な業種が思い浮かぶと思う。業種を絞るのか、それとも幅広くでき	1件	つくば市におけるスタートアップ支援では、筑波研究学園都市の強みであるテクノロジー系スタートアップを支援することで、他都市との都市間競争を優位にしていくことを狙いとしているため、つくば市スタートアップ戦略では、そこに重点を置いて記載をしています。ご意見をいただいた一般的な多様な業種における創業支援は、つくば市では一般的な業種であっても、AIやIoTなどのテクノロジーを活用するスタートアップについては支援しているところです。また、一般的な業種の方々への間接的な支援としては、市営の「つくばスタートアップパーク」の運営をとおして、イベントや交流会の継続的な実施などにより、業務効率化などの経営を支える技術を持ったスタートア

	<p>るのかも重要なことであるため（特に新規事業ならなおさら）検討してほしい。（他都市の参考事例として松戸市のコンテンツ産業がある。）</p>		<p>ップとの出会いの場を創出しています。</p>
--	---	--	---------------------------

○ スタートアップ・エコシステム について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>15 ページにスタートアップ・エコシステム東京コンソーシアムやCICとの連携について記載があるが、写真や図だけでは世界との繋がりが分かりにくいように思う。</p> <p>国内外との関係を分かりやすく地図で示していただきたい。</p>	1件	<p>ご意見のとおり、写真と図に加えて地図も交えて国内外のつながりを表示するように修正します。</p>

○ 登録スタートアップ について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>17 ページ、88 ページに登録スタートアップの紹介があるが、URL だけでなく「ミッション・ビジョン・パーパス」といった項目を設けて、どのような社会課題を解決しようとする会社があるのかを一覧にして頂きたい。そうすれば、つくば市が登録スタートアップを通じて、どのような社会課題に取り組もうとしているか、一目瞭然になるように思われる。</p>	1件	<p>登録スタートアップの紹介については、市のウェブサイトが発信しているところです。ご意見のような見やすさや分かりやすさの向上は市民やスタートアップ双方にとっても重要なものと考えます。そのため、市のウェブサイトにおいて、ご意見の内容に対応するとともに、本戦略においては、そのウェブサイトへ案内するためのQRコードを追記します。</p>

○ 第2期つくば市スタートアップ戦略の全体像 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
	25 ページのヴィジョンの		ヴィジョン策定については、

<p>1</p>	<p>記載の後に、なぜそのようなヴィジョンになるのかという点を、つくばの「歴史」に裏打ちされたストーリーの下で以下のような説明を付すことで、以後の基本方針や個別方針に納得感が高まることに加え、スタートアップ推進都市としてつくば市が国内外で個性を発揮する上で役立つように思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筑波研究学園都市は、国の研究機関等を計画的に移転することにより、高水準の研究と教育を行うための拠点として形成された。そのため、約 150 の研究機関と約 2 万人の研究従事者が集積する、世界的にみても稀な都市である。しかも、研究従事者は多様な国から来日しており、「世界の多様な文化が出会い、融け合う」ための要素が揃っている。</li> <li>・また、筑波研究学園都市は「東京の過密緩和を図る」ために建設・発展してきた。そのため、つくばと東京は、つくばエクスプレスでも結ばれており、34 年連続で人口増加。都内通勤の社会人なども、つくばに住んでいる。研究従事者とビジネスパーソンが協業できる高いポテンシャルがある。</li> <li>・更に、34 年連続で人口増加する理由は、「研究学園都市」としての魅力だけではなく、</li> </ul>	<p>1件</p>	<p>22 ページ及び 23 ページのとおりつくば市が持つ強みや課題などの現状分析を行い導き出したところです。一方で、ご意見のとおりスタートアップ支援は単発的なものではなく、これまでのつくばの歴史が重要なものであると考えます。そのため、4 ページにある『最先端の研究機関が集積する「筑波研究学園都市」』の記載において、ご意見を踏まえて追記します。</p>
----------	--	-----------	---

<p>「水と緑、きれいな空気と青い空」という豊かな自然が今もなお残っており「人間と自然と科学が調和しながら共存」していることにもある。</p> <p>「人間と自然と科学の調和」は、人類共通の目標であり、つくばは「持続可能都市」「ゼロカーボンシティ」も目指している。つくば市の抱える社会課題は、世界が解決を求める課題に直結する（その潜在力がある。）。</p> <p>・だからこそ、つくば市は、世界を世界が解決を求める課題の解決に向けて、（市内の）「人的資源と研究・技術シーズ」を基に、「スタートアップの創出」と「スタートアップが成長できるエコシステムの醸成」に取り組む。</p>		
--	--	--

○ スタートアップ支援 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>スタートアップで仕事を起こした場合、展示イベントなどに出店するのに補助など広報、宣伝の助成初期機材設備支援やレンタルなどもしくはシェアオフィス、ゴーストレストラン、シェアキッチン、屋台村、異業種やクライアント、パトロンとマッチングの場所、こういうようなものがあるとよい。</p>	1件	<p>本戦略では支援の詳細について記載をしておりますが、ご意見いただいたスタートアップへの支援については、つくばスタートアップパークにおいてコワーキングスペース、会議室、セミナールーム、貸しオフィスに加え、イベントや交流会の開催、専門家相談会などを実施しています。財政支援としてはオフィスの家賃補助や経済部産業振興課ではスタートアップも対象となる展示会出展支援補助金などがあります。そのほか茨城県や</p>

			国の支援などとも連携を図りながら支援しています。
--	--	--	--------------------------

■ 修正の内容

○ はじめに について

修正前	修正後
つくば市は「世界のあしたが見えるまち」をヴィジョンに掲げ、世界が抱える課題を解決する新たなモデルを提示していくことを <u>使命と捉え</u> ています。	つくば市は「世界のあしたが見えるまち」をヴィジョンに掲げ、世界が抱える課題を解決する新たなモデルを提示していくことを <u>目指して</u> います。

○ 第1章 背景 P.4 について

修正前	修正後
最先端の研究機関が集積する「筑波研究学園都市」 筑波研究学園都市は、（中略）スタートアップに対する出資が進んでいます。	最先端の研究機関が集積する「筑波研究学園都市」 筑波研究学園都市は、（中略）スタートアップに対する出資が進んでいます。 <u>また、2005年のつくばエクスプレス開通後の発展により近年では年間約5,000人ペースで人口が増えており、都内通勤のビジネス人材も多く、研究従事者とビジネス人材が協業できる高いポテンシャルがあります。まちの発展のみならず、「水と緑、きれいな空気と青い空」という豊かな自然が今もなお残っており、これら「人間と自然と科学の調和」と通じて、つくば市は筑波研究学園都市のテクノロジーをいかした「持続可能都市」や「ゼロカーボンシティ」を推進し、世界の社会課題の解決にチャレンジしています。</u>
記載なし	<u>スタートアップの定義</u>

	<p>つくば市ではスタートアップを「<u>新たなビジネスモデルを開拓し急成長を目指す会社</u>」と捉え、本戦略の<u>主要ターゲットを次のとおり定義</u>しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>日本国内の非上場会社である</u></li> <li>● <u>設立から 10 年未満である</u></li> <li>● <u>事業分野がライフサイエンス、ロボット、エネルギー、ナノテクノロジー・物質・材料、情報サービス、環境及び宇宙分野のいずれかに該当する</u></li> <li>● <u>ユニークなテクノロジーや製品・サービス、ビジネスモデルを持ち、事業成長のための投資を行い、事業成長拡大に取り組んでいる</u></li> <li>● <u>これまでの世界を覆し、新たな世界への変革にチャレンジしている</u></li> </ul>
--	--

○ 第1期戦略を通した全体の成果 P.15 について

修正前	修正後
図 5 <u>米国 CIC との連携</u>	図 5 <u>国内外の組織との連携</u>
	

○ ③登録制度の創設による寄り添った支援 P.17 について

修正前	修正後
記載なし	<p><u>登録スタートアップの情報はこちらのQRコードから市ウェブサイトへご案内します。</u></p> 

○ 第2期つくば市スタートアップ戦略の全体像 P.25 について

修正前	修正後
<p><u>スタートアップの定義</u></p> <p><u>つくば市ではスタートアップを「新たなビジネスモデルを開拓し急成長を目指す会社」と捉え、本戦略の主要ターゲットを次のとおり定義しています。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>日本国内の非上場会社である</u></li> <li>● <u>設立から10年未満である</u></li> <li>● <u>事業分野がライフサイエンス、ロボット、エネルギー、ナノテクノロジー・物質・材料、情報サービス、環境及び宇宙分野のいずれかに該当する</u></li> <li>● <u>ユニークなテクノロジーや製品・サービス、ビジネスモデルを持ち、事業成長のための投資を行い、事業成長拡大に取り組んでいる</u></li> <li>● <u>これまでの世界を覆し、新たな世界への変革にチャレンジしている</u></li> </ul>	<p>(P4へ移動)</p>

○ 登録スタートアップ一覧 P.88 について

修正前	修正後

記載なし	<p><u>登録スタートアップの情報はこちらのQRコードから市ウェブサイトへご案内します。</u></p> 
------	---

○ 第1期戦略を通した全体の成果 P.15 について

修正前	修正後
<p>① スタートアップ・エコシステムの始動</p> <p>スタートアップ・エコシステム拠点都市 グローバル拠点都市の一員（スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム）としての参画や、つくば市、茨城県、国立大学法人筑波大学（以下「筑波大学」）、国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下「産総研」）、国立研究開発法人物質・材料研究機構（以下「NIMS」）、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」）が中心となって関係機関が連携する「つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」の組成、市営インキュベーション・交流施設であるつくばスタートアップパークの整備、<u>CIC<sup>8</sup>とつくばスタートアップパークとの連携等</u>を通して、つくば市がハブ機能を担うことで市内外の多様な関連事業者との連携及び交流が進み、スタートアップ・エコシステムの土壌が醸成されつつあります。</p>	<p>① スタートアップ・エコシステムの始動</p> <p>スタートアップ・エコシステム拠点都市 グローバル拠点都市の一員（スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム）としての参画や、つくば市、茨城県、国立大学法人筑波大学（以下「筑波大学」）、国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下「産総研」）、国立研究開発法人物質・材料研究機構（以下「NIMS」）、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」）が中心となって関係機関が連携する「つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」の組成、市営インキュベーション・交流施設であるつくばスタートアップパークの整備、<u>CIC や LUXINNOVATION<sup>8</sup>との連携等</u>を通して、つくば市がハブ機能を担うことで市内外の多様な関連事業者との連携及び交流が進み、スタートアップ・エコシステムの土壌が醸成されつつあります。</p>



図6 つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム相関図 (2022年10月末時点)

8 世界最大級のイノベーションハブである Cambridge Innovation Center を指す



図6 つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム相関図 (2023年1月末時点)

8 世界最大級のイノベーションハブである Cambridge Innovation Center (CIC) 及びルクセンブルク政府系イノベーション推進機関である Luxinnovation

※パブリックコメントによるものではありませんが、最新の情報に修正しました。

○ 表3 東京都内でのつくば市主催イベントの参加者数 P.16 について

修正前	修正後
記載なし	Tsukuba Startup Night 2022 虎ノ門ヒルズビジネスタワー/オンライン 305名

※パブリックコメントによるものではありませんが、最新の情報を追加しました。

○ 図9 登録制度のスタートアップ一覧 P.17 について

修正前	修正後
(2022年10月15日時点、登録公開企業のみ、分類は市スタートアップ推進室によるもの)	(2023年1月27日時点、登録公開企業のみ、分類は市スタートアップ推進室によるもの)



※パブリックコメントによるものではありませんが、最新の情報を追加しレイアウトを見やすくしました。

○ 登録スタートアップ一覧 P.88～94 について

修正前	修正後
登録スタートアップ一覧（2022年10月15日付け）の登録企業を掲載（五十音順）	登録スタートアップ一覧（2023年1月27日時点）の登録企業を掲載（五十音順）
ロボット、ものづくり 株式会社 Bespoke Product	ロボット、ものづくり 株式会社 Bespoke Product <a href="https://bespoke-product.co.jp">https://bespoke-product.co.jp</a>
通信、フォトニクス （追加）	通信、フォトニクス 株式会社グリーン・パイロラント <a href="https://www.green-pyrolant.com">https://www.green-pyrolant.com</a>
ソフトウェア、アプリケーション 株式会社 Select	ソフトウェア、アプリケーション 株式会社 Select <a href="https://selectbook-22.studio.site/1">https://selectbook-22.studio.site/1</a>

※パブリックコメントによるものではありませんが、最新の情報を追加しました。